

自己点検・評価シート

整理No.	3-(1)-③	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民体育祭開催事業	所属名 教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ 課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり
	政策	01	健康を守り、いきいきと元気に暮らす
	施策	3103	スポーツ・レクリエーションの振興

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内在住の全社会人
意図 (どのような状態にするために)	地域のつながりや一体感の醸成、活力のあるまちづくりに向けた市民総スポーツ運動の推進によって生涯スポーツの普及推進を図る。
手段 (どうするのか)	市内44の小学校区ごとにチームを組織し、対抗戦による種目別競技会を開催する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・市民体育祭検討会の開催	・市民体育祭検討会の開催	・市民体育祭検討会の開催	・市民体育祭検討会の開催	・市民体育祭検討会の開催	
	年度別実績	・市民体育祭の開催参加者述べ23,895人 ・種目別参加チーム延べ449チーム	・市民体育祭の開催参加者述べ24,369人 ・種目別参加チーム延べ481チーム	・市民体育祭の開催参加者述べ23,520人 ・種目別参加チーム延べ472チーム	・市民体育祭の開催参加者述べ16,559人 ・種目別参加チーム延べ428チーム (台風のため陸上競技が中止)	/	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	9,358	9,448	9,448	9,465	2,195	
	直接経費 A	1,861	2,022	2,163	1,943	2,195	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,861	2,022	2,163	1,943	2,195		
人件費 B	7,497	7,426	7,285	7,522			
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00		
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00		

4. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

事務事業の実施概要	<p>1 事業の概要 鳥取市民体育祭は、昭和33年に市制70周年記念事業として始まった。毎年4月中旬の予選から、10月中旬まで約6ヶ月間に渡って44の小学校区ごとに約19種目(オープン競技含む)の競技を行い、得点を競い合うもので、選手・役員・応援などに延べ約25,000人の市民が参加する、全国でもあまり例を見ない本市最大のスポーツ行事である。</p> <p>2 事業の効果 鳥取市の掲げる市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツの推進はもとより、小学校区対抗とすることで、地域の一体感の醸成、他地域との交流の場として寄与している。</p>
-----------	---

5. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	市民体育祭参加人員	人	目標	25,500	25,500	26,000	26,000	26,000
				実績	23,895	24,369	23,520	16,559	
	(指標の説明) 市民体育祭に参加する人数								
	2	各校区の述べ参加種目数	種目	目標	528	572	572	572	572
実績				449	481	472	428		
(指標の説明) 各校区の参加種目の合計(全校区が全種目に参加した場合、572種目)									

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	市民体育祭参加人員	人	94%	96%	90%	64%	
	2	各校区の述べ参加種目数	種目	85%	84%	83%	75%	

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由
目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民総スポーツ運動の中核事業として、毎年多くの市民に参加いただいている。
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	生涯スポーツの推進や、世代間・地域間交流に有効であり、活力のあるまちづくりに寄与している。
資源投入の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各種目協会等への委託により、円滑な運営体制が整っている。
サービスの公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市全域の校区を対象に開催しており、公平といえる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> (2) 効率化・簡素化 <input type="checkbox"/> (3) 他事業との統合 <input type="checkbox"/> (2) 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> (2) 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> (3) 制度的に終了
担当課等の評価コメント	市民総スポーツ運動の中核となる事業であり、生涯スポーツや市民交流の推進の場となっている。参加者のニーズに合わせ、競技の実施方法等に改善を加えながら継続実施していく。	
今後の課題・方向性	今後も継続して取り組む。 開催種目等に関しては、地域体育会等の意見を反映し、より多くの校区・市民が参加できるように随時見直しを行う。 また、競技への参加者だけでなく、「見る」、「支える」人々の増にも努めていく。	

9. 学識経験者の所見

【中島廣光氏 評価結果】

評価コメント	長く続く事業は往々にして社会の変化とかけ離れた事業になっていたり、当初の目的を達成できない形に形骸化していたりする恐れがある。アンケート調査を行う、あるいは意見交換会などを開くなどして、時に立ち止まり見直しをかけることも忘れてはいけない。
--------	---

【石川真澄氏 評価結果】

評価コメント	26年度の活動指標の低下は陸上競技が中止されたことによる。ヒアリングの際には参加者層の拡大が今後の課題としてあげられていたが、そうした参加者の構成の変化や、大会を通じた生涯スポーツ活動の改善を捉えるよう、評価の方法が改善されることを期待したい。
--------	--